



- 明るい部屋や未使用の会議室は消灯を徹底します。



- 空調は場所毎に適切な温度設定とし、未使用箇所は停止します。



- 窓面にグリーンカーテンを設置しましょう。



- 日射が強いときは、カーテン・すだれを上手に使いましょう。



- 玄関や職員通用口のドアは、きちんと閉めます。



- エアコンのフィルターは、2週間に1回程度、清掃しましょう。



- 冷凍冷蔵庫の冷やしすぎに注意しましょう。



- デマンドコントロールシステムで、
一昨年(H22年)比 15%設定。
ピークデマンド【上限値:124kw】
使用量【月別に 15%目標】

5つの基本アクションをお願いします		建物全体に対する節電効果	実行チェック
照明	・事務室の照明を半分程度間引きする。	4%	<input type="checkbox"/>
	・使用していないエリア(ホールや事務系スペースの未使用時)は消灯を徹底する。	4%	<input checked="" type="checkbox"/>
空調	・玄関、ホール、居住スペース、共用スペース、厨房、管理部門毎に適切な温度設定を行う。	1%	<input checked="" type="checkbox"/>
	・使用していないエリア(ホールや事務系スペースの未使用時)は空調を停止する。	1%	<input checked="" type="checkbox"/>
	・日射を遮るために、ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。	1%	<input checked="" type="checkbox"/>

さらに節電効果が大きい以下のアクションも検討してください		建物全体に対する節電効果	実行チェック
空調	・室内のCO ₂ 濃度の基準範囲内で、換気ファンの一定時間の停止、または間欠運転によって外気取り入れ量を調整する(外気導入による負荷を減らすため)。	2%	<input type="checkbox"/>

メンテナンスや日々の節電努力もお願いします		建物全体に対する節電効果	実行チェック
照明	・従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。 (従来型蛍光灯からHf蛍光灯又は直管形LED照明に交換した場合、約40%消費電力削減。)		<input type="checkbox"/>
	・居室では可能な限り天井照明を消灯し、スポット照明を利用する。		<input type="checkbox"/>
空調	・フィルターを定期的に清掃する(2週間に一度程度が目安)。		<input checked="" type="checkbox"/>
	・搬入口の扉やバックヤードの扉を必ず閉め冷気流出を防止する。		<input checked="" type="checkbox"/>
	・電気以外の方式(ガス方式等)の空調熱源を保有している場合はそちらを優先運転する。		<input type="checkbox"/>
コンセント 動力	・調理機器、冷蔵庫の設定温度の見直しを行う。		<input checked="" type="checkbox"/>
	・電気式オートクレープの詰め込み過ぎの防止、定期的な清掃点検を実施する。		<input type="checkbox"/>
	・電気式給湯機、給茶器、温水洗浄便座、エアタオル等のプラグをコンセントから抜く。		<input type="checkbox"/>
その他	・自動販売機の管理者の協力の下、冷却停止時間の延長等を行う。		<input checked="" type="checkbox"/>
	・ デマンド監視装置を導入し、予め15%削減値を設定して節電対策を実施する。		<input checked="" type="checkbox"/>
	・コージェネレーション設備を設置している場合は、発電優先で運転する。		<input type="checkbox"/>
	・需給調整契約(料金インセンティブ)に基づくピーク調整、自家用発電機の活用等。		<input type="checkbox"/>

施設・事業所関係者への節電の啓発も大事です		建物全体に対する節電効果	実行チェック
節電啓発	・節電目標と具体策について、職員全体に周知徹底し実施する。		<input checked="" type="checkbox"/>
	・節電担当者を任命し、責任者(病院長・事務局長など)と関係全部門が出席したフォローアップ会議や節電パトロールを定期的実施する。		<input checked="" type="checkbox"/>
	・施設事業所関係者に対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。		<input checked="" type="checkbox"/>

合 計	15%
-----	-----

上記の節電目標は、「一昨年比(平成22年夏期との比較)」による設定値で、昨年(平成23年夏期)の節電目標と同等です。なお、平成23年夏期節電実績は前年比 16%でした。

- ご注意
- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
 - ・空調については電気式空調を想定しています。
 - ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
 - ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。
 - ・節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものにならないようご注意ください。